

# 文理科学科

福高はあなたの「みらい」を応援します！

## 「みらい学」とは

「みらい学」とは、福知山高校文理科学科独自の取組です。今年度の取組を紹介しながら、1年生で履修する「みらい学Ⅰ」について説明します。

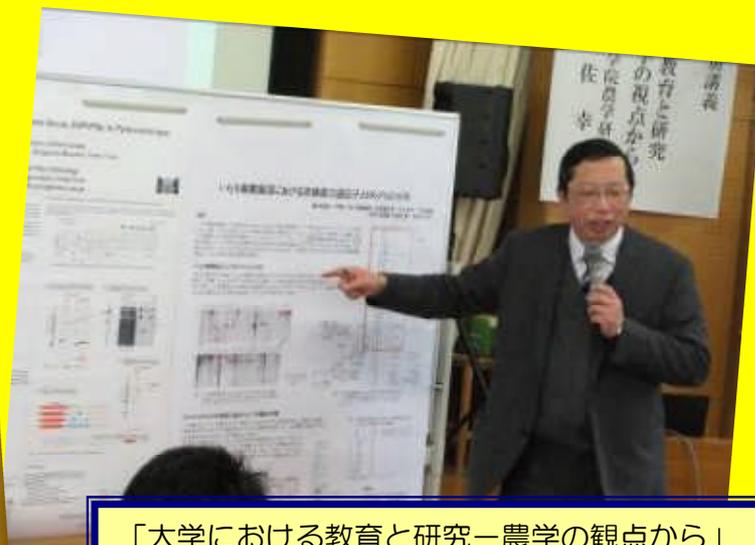
## ☆「みらい学Ⅰ」☆

○大学や社会の最前線で活躍されている方々を講師にお招きし、特別講義を通して多様な学問に接します。  
○講師の先生方から、それぞれの学問テーマに即した研究課題を与えていただき、その課題について、グループまたは個人で研究活動を実践します。

## 平成22年度 特別講義



「環境と経済を考える」  
講師：京都大学大学院経済学研究科  
教授 植田和弘 先生



「大学における教育と研究－農学の観点から」  
講師：神戸大学大学院農学研究科  
教授 土佐幸雄 先生



「三葉虫を調べよう」  
講師：京都大学総合博物館  
館長 大野照文 先生



「検察業務と刑事手続の基本的な流れ」  
 講師：京都地方検察庁総務部  
 検察官検事 奥谷千織 先生



「グループ研究の手法を学ぶ」  
 講師：京都大学大学院情報学研究科  
 准教授 荒井修亮 先生  
 グローバルCOE助教 奥山隼一 先生

## 研究交流会

生徒たちは各先生方から与えられた課題についてグループまたは個人で研究します。その研究成果を発表するのが研究交流会です。

研究成果の発表の手段としては、大きく分けて、ポスターセッションとパワーポイントの2つの方法があります。



## ポスターセッション

研究した成果を1枚のポスターにまとめ、そのポスターの前に立って説明する方式です。

## パワーポイント

研究した成果をコンピュータ上で発表資料として作成し、それに基づき発表する方式です。

「みらい学Ⅰ」で学んだ研究手法を駆使しながら、2年次には各グループで自由に研究課題を設定し、よりレベルの高い研究活動に取り組んでいきます。